

ソーシャルワーク論Ⅴ

担当教員 滝口 真

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

下位学年で学習したソーシャルワークの知識と得られた知見を応用して実践する際に求められる価値と倫理・専門知識及び技術について解説する。特に以下の点について学習を深める。

- ① ソーシャルワークにおける対象、ケアマネジメント、グループワークについて理解し、解説できる。
- ② ソーシャルワークにおけるコーディネーション、ネットワーキングについて理解し、解説できる。
- ③ ソーシャルワークにおける社会資源の調整及び開発について理解し、解説できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	社会福祉士・精神保健福祉士の相談援助活動の対象及び基本的な考え方を説明できるようになる。
2	集団の性質やグループダイナミックスについて論じることができるようになる。
3	集団を活用した相談援助の意義、目的を説明できるようになる。
4	集団を活用した相談援助の方法、留意点を説明できるようになる。
5	自助グループについて論じることができるようになる。
6	ケースマネジメントとケアマネジメントの目的、方法を説明できるようになる。
7	アウトリーチの目的、方法を説明できるようになる。
8	社会資源の活用・調整・開発について論じることができるようになる。
9	ネットワーキングの目的、方法を説明できるようになる。
10	各種のネットワーキングの実際を説明できるようになる。
11	ケア会議の意義、目的を説明できるようになる。
12	「個人情報保護法」の運用を説明できるようになる。
13	ITを活用した支援方法の意義、目的を論じることができるようになる。
14	ITを活用した支援方法、留意点を説明することができるようになる。
15	ソーシャルアクションによるシステムづくりを論じることができるようになる。

【履修上の注意事項】

社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験受験資格を取得する者は、必ず履修しなければならない。授業前の課題に取り組むこと。授業後に学習内容を復習しておくこと。

【評価方法】

レポート提出20%、定期試験80%として評価する。

【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅱ』新講座⑧、中央法規出版。

【参考文献】

授業開講時に指示する。